日本語ボランティア
実践講座
受講者募集



中野区国際交流協会では、地域にお住まいの外国人の方々に日本語を教える講座を開いています。この日本語講座で学ぶ外国人は、約 200 人。30 年以上の歴史を誇るこの日本語クラスで、現在は約 160 人の日本語ボランティアの方々が活躍中です。

講座の内容は、受講者参加型の実践的な講座です。

日本語ボランティアになって 、言葉を教えることだけでなく、外国人の方々との交流を深める機会ともなります。

当協会のボランティア活動に積極的に参加できる方の応募をお待ちしています。

対　　象　以下の2つを満たす方

（1）区内在住・在勤・在学者（当協会の賛助会員であれば区外でも可）で当協会のボランティアとして積極的に活動できる20歳以上の方。

（2）以下のいずれかまたは複数のクラスで活動できる方。

毎週火曜日 10:00～12:00、14:00～16:00、16:15～17:50

毎週木曜日 16:15～17:50、18:30～20:30

※日本語およびその他の教育関連の資格や経験は問いません。

※外国語の資格や能力は必要ありません。

※この講座は、受講後に当協会の日本語講座で活動していただける方が対象です。

期日・時間　2026年12月1日から2027年3月30日までの原則毎週火曜日。全15回。
午後6時半から9時まで

会　　場　中野区国際交流協会　会議室　（中野区中野2－9－7　中野駅南口徒歩7分）

講　　師　NPO多文化子ども自立支援センター代表理事
東京の日本語教育を考える会　代表　　中山眞理子　氏

定　　員　30人　（抽選有）　※受講者には、11月中旬までに個別に通知いたします

受 講 料　15，000円（賛助会員13，000円）。 教材費1，900円別途

応募方法　以下の2点を中野区国際交流協会までご持参ください。（郵送・メール不可）

（1）小論文「地域の多文化共生と日本語ボランティアの役割」
400字詰め原稿用紙に1，000字程度で。 ※自筆 （パソコン等不可）

（2）必要な項目を記入した所定の「受講申込書」

応募締切　**11月2日(月)**

問 合 せ　中野区国際交流協会　〒164-0001　中野区中野 2-9-7　なかのZERO西館
受付時間　平日：9：00～17：00　（ただし、火・木は、19：00まで）
電話　03－5342－9169　　メール　anic@nifty.com

中野区国際交流協会の日本語講座の概要

■日本語講座とは

中野区国際交流協会の日本語講座は1989年に始まり、ボランティア実践講座は今年で38回目となります。協会の日本語講座は 20 代からシニア世代まで約 160 名の日本語ボランティアの方によって支えられています。ボランティアの皆さんは、講座終了後も継続的に日本語指導の勉強会を続けており、指導力・情熱ともに区内外から非常に高い評価を得ています。(1997 年度第 28 回博報賞(国語教育・日本語教育部門)受賞。)

■日本語講座の運営

1. ボランティア(日本語を教えるボランティア)

日本語ボランティア実践講座修了者。

2. 開講時間

・火曜日午前クラス　10:00～12:00
・火曜日午後クラス　14:00～16:00
・木曜日夜クラス　18:30～20:30
} 主に大人が中心のクラス

・火曜日・木曜日子どもクラス　16:15～17:50　(区内の小中学校に通う子どもたちが対象)

※夏休み子どもクラス・春休み子どもクラス(月・水・金) 10:00～12:00 もあります。

3. 学習者

区内在住・在勤・在学(ただし日本語学校の学生は不可)の方。様々な国籍の方が日本語を学んでいます。

4. 学習者の参加費用等

・登録料: 2000～5000 円　※年齢、住所によって異なります。1年以上休んだ人は、再度登録が必要。
・受講料: 無料　※一度登録すれば、いつまでも勉強することができます。
・教材: 400 円～1500 円　※中野区国際交流協会で開発した教科書・練習帳を使用。
・活動費:大人 200 円

■よくある質問

Q1:どうやって教えるのですか。英語ができないとだめですか。

A1: 日本語クラスの学習者には様々な国籍の方がいますので、共通言語である「日本語」で教える「直説法」を採用しています。外国語を話す必要はありません。日本語による教え方を実践講座で学びますのでご安心ください。また、ボランティア対象のスキルアップのための勉強会も行っています。

Q2:子どものクラスはどんなクラスですか。

A2:区内の小中学校に通っている子どもたち約40名が在籍しています。マンツーマン、あるいは同じレベルの子ども数人とボランティア1人の小さなグループで勉強します。

Q3:どんな教科書を使っていますか。

A3:協会が作成したオリジナルの教材(教科書と練習帳)を使っています。課ごとのテスト用紙もあります。

Q4:クラスはどのように運営されていますか。

A4:クラスは、基本的にボランティアの自主運営です。レベル別の小さなグループで勉強します。日本語が全くできない学習者から、日本語能力の高い学習者まで多様なレベルに対応しています。

Q5:日本語教授法の資格を持っているのでボランティアをしたいのですが。

A5:日本語の教え方や質、クラス運営などをボランティア間で統一していただくため、日本語関係の資格や経験をお持ちの方も全員実践講座を受講した後、ボランティアとして活躍していただいています。

中野区国際交流協会（ANIC）

Association for Nakano International Communications



中野区中野２－９－７　なかの ZERO　西館

電話：０３－５３４２－９１６９

中野区国際交流協会　第38期日本語ボランティア実践講座
受　講　申　込　書

2026年　月　日提出

ふりがな 氏　　名		性別	男 ・ 女
生 年 月 日	年　　月　　日生れ　　歳		
住　　所	〒		
電　話		FAX	
E-mail		協会賛助会員	会員　・　非会員
参加可能なクラス ※該当するものに☑	□火曜午前クラス(10:00～12:00)　□火曜午後クラス(14:00～16:00) □木曜夜クラス(18:30～20:30) □火曜子どもクラス(16:15～17:50)　□木曜子どもクラス(16:15～17:50)		

※　経験の有無について、参考としてお聞きします。 受講者の確定とは無関係です。

日本語ボランティア 経験の有無	1．なし 2．あり(対象:　　機関:　　期間:　　年)
地域での活動経験・ 日本語以外の ボランティア経験	1．なし 2．あり(具体的に　　) 例:民生委員、学校評議員　等

教育関連経験 ※該当するものに☑	□保育士　(　　年)　□幼稚園教諭　(　　年) □小学校教諭 (　　年) □中学校教諭 (　　年)　教科(　　) □高校教諭　(　　年)　教科(　　) □大学教員　(　　年)　科目(　　) □家庭教師　(対象:　　教科:　　期間:　　年) □塾講師　(対象:　　教科:　　期間:　　年) □日本語教師 (対象:　　機関:　　期間:　　年) □その他　(　　)
教育関連資格 ※該当するものに☑	□日本語教師養成講座 420 時間コース修了 □日本語教育能力検定試験合格 □日本語教育関連または教育関連学士・修士号取得 □教員免許　幼・小・中・高　教科(　　) □保育士免許 □その他(　　)
備考	

※応募で提供いただいた個人情報は、今回の講座の選考・研修の目的にのみ利用し、その他の目的に利用することはありません。